

令和2年度 学校だより



令和2年8月6日（木）

御前崎市立第一小学校

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

E-mail:

8月号

onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp

子供たちの『花』に拍手！皆様の御協力に感謝！

今日は、1学期の終業式です。こうして安全に教育活動ができたことも、いつも学校を支えてくださる保護者や地域の皆様のおかげであると心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

今、本校では、6年生を中心に『御T活動』が推進されています。これは、「運動会に全員で御一マンTシャツを着よう。そのために購入資金を集めよう」という活動です。子供たちが「自分からみんなで」スタートさせた活動です。毎年運動会で色別に着ている御一マンTシャツは、保護者や地域の皆様の協力のもと行われている資源回収の収益金で購入していました。今年度の第1回資源回収がコロナウイルス感染拡大防止により中止になったため、購入が不可能になったことを子供たちに伝えると、何とかしたいと6年生が校長室に『直談判』にきたことからスタートした活動です。昨年度末からコロナウイルス感染拡大のため、教育活動がことごとく、例年通りにはできなくなりました。やむを得ないことでしたが、私たち御一小の職員は、限られた環境の中であっても今できる最善の教育活動を行っていきたいと考えていました。御Tが着られないなら、自分たちで何とかしたいという思いを持たせて行動させたいと考えて、校長室への『直談判』の実現に至りました。教員の仕掛けと子どもたちの願いと行動で、大人の心を動かし、たくさんの資源が集まっています。また、「新聞で読んで、子供たちの姿に感動した」という、匿名の方々が、応援の支援金を持ってきてくださいました。牧之原市のGG様、御前崎の仮面ライダー様、池新田のばあば様、御一小で教員をしたことがあるばあば3人組様、ありがとうございました。

しかし、全員分の御T購入には、まだ足りません。これからも資源回収を続けていきます。子供たちが自分たちの活動にたくさんの方が賛同してくださって、成し遂げることができた喜びと達成感、そして、多くのみなさんに感謝することを体験させたいと考えています。御協力をお願い致します。

堀江優芽さんの告別式の日、学校では、優芽さんを乗せた車を全校の子供たちと職員が迎えました。このお別れの会に参加して下さった6年生の子供のお母さんからの手紙を紹介します。「……優芽ちゃんを乗せた車が見えた瞬間、がやがやしていた子供たちが静かになり、門に入ってきた瞬間、シーンと静まり返り、全校児童、先生方が優芽ちゃんを見送る姿に鳥肌が立ちました。さっと帽子をとる子、黙祷する子、手を合わせる子、自然とその姿になる子供たちを見て、第一小すごい！とただただ感激をしてしまいました。そんな学校に娘が通っていることを、とても誇りに思いました。先生方、ありがとうございました。……」（校長 増田久美子）